

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 飛驒吉城特別支援学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月8日(木) 10:00~12:00
- 3 開催場所 飛驒吉城特別支援学校 図書室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会長	中谷 英子	当校PTA会長(欠席)
副会長	奈木 桂子	福祉事業所ピース代表(欠席)
委員	吉村 正彦	殿町19区区長
	中村 泰己	青龍会会長
	中切 智子	地域生活安心センター担当課長
	蓑輪 一幸	創立10周年記念事業実行委員会会長
	下出 尚弘	古川小学校校長
	柚原 誠	神東会理事長
オブザーバー	沖畑 康子	飛驒市教育委員会教育長
学校側	太田 浩司	校長
	北川 貴美	教頭
	大乘坊 健	事務長
	道下 亜紀子	小・中学部部主事
	西垣 光洋	高等部部主事
	中田 健太	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 校長挨拶

1年間、いろいろなことに取り組み、課題もみえてきた。来年度に向けて、意見をいただきたい。

(2) テーマに応じた取組(1年間を通して)について

意見や質問なし

⇒事業所や市の教育委員会の方々等に校内及び授業を見学してもらった。学校を知ってもらおうといった観点では、好評であった。

(3) 高等部作業学習の新製品価格について

適正な価格であると承認された。

(4) 今年度の教育実践と反省と来年度に向けて

意見1:授業時間数の見直しはどう考えているか。

⇒来年度は、4月当初に午前授業とし、時間調整をしていく。また、職員の働き方改革も含め、午後からは職員の訓練等を行う予定である。

(5) 授業参観

(6) 意見交換

意見1：防災関連について、災害（避難）時の対応について確認したい。

⇒年間3回、避難訓練、月に1回程度シェイクアウト訓練を実施している。市から福祉避難所に指定されているが、実際に災害が起きた時のイメージはもてていない。今後、どのように対応していくかの確認も必要であると考えます。

意見2：日下部民藝館やラクールでの活動等、良くアピールされている。写真展だけでなく作品も展示すると良いのではないかと。児童生徒の個々の能力（美術作品等）の向上にも努めると良い。

意見3：1、2回の会議の意見交流でできた事柄が実行されているので良い。

意見4：今年度卒業する生徒が事業所を利用してくれるので有難い。高齢中心の事業所ではあるが、地区のニーズに合わせ、多くの方が利用できるようにしていきたい。

意見5：授業を見て、中学校の教え子が頑張っている姿が見られ、嬉しく思う。居住地校交流は以前一緒に学習していた児童が来校し、お互い楽しそうに活動していた。

意見6：行事等に向かい、児童生徒が一体となり取り組んでいた。児童生徒の将来を見据え、指導・支援を進めていただきたい。

意見7：進路支援等、先を見据えて取り組んでいる。社会に出るための助走（支援・指導）をお願いしたい。また、授業も目的意識が明確になっている。

6 会議のまとめ

- ・第3回学校運営委員会において、テーマに応じた取組のまとめを確認。意見を参考に行ったこと、来年度への課題が明確化されたことを来年度の教育の取組等に生かしていく。
- ・今年度の教育実践の反省と来年度に向けた取組について承認が得られた。
- ・高等部作業製品価格について、全委員より適正価格であると承認を得られた。